



はんだ山の風

2014 WINTER

第14号

平成26年1月発行



Contents

- P.2 新年のご挨拶 病院長 瀧川 雅浩
- P.3 新任医師の紹介 第二内科内分泌科 診療助教 山下 美保
- P.3 医学部附属病院再整備完成記念式典を挙行 総務課
- P.4 シリーズ最先端医療「口腔がんに対する機能温存治療」
歯科口腔外科 病院准教授 長田 哲次
- P.5 病気 ここが知りたい「多嚢胞性卵巣症候群」
産婦人科学 教授 金山 尚裕
- P.6 フェーズ0からの災害医療 救急災害医学講座 助教 高橋 善明
- P.7 樹木剪定ボランティアの紹介 ～遠州庭園同好会～
ボランティアリーダー 結城 由行
- P.7 ジャズX'masコンサート開催 ～ Mayumi & Gentle3 ～ 医事課
- P.8 冬を彩るクリスマスイルミネーション 施設課・医事課
- P.8 自動支払機が変わります 医事課



浜松医科大学医学部附属病院 常勤・パート看護師募集

お問い合わせ

●人事課任用係 TEL.053(435)2117
●看護部事務室 TEL.053(435)2627

病院の理念

患者さんの人権を尊重し、地域の中核病院として安全で良質な医療を提供する。

さらに、大学病院として高度な医療を追求しつつ優れた医療人を養成する。

基本方針

- 患者さんの意思を尊重した安心・安全な医療の提供
- 社会・地域医療への貢献
- 良質な医療人の育成
- 高度な医療の追求
- 健全な病院運営の確立

新年のご挨拶

あけましておめでとうございます。本年もなにとぞ宜しくお願い申し上げます。浜松医科大学医学部附属病院では、「患者さんへの最良の医療の提供」を強く心がけて診療を行っております。最良の医療とは高度で安全な医療であり、提供にあたっては医療の内容を丁寧に、分かりやすく説明していくことが大切です。患者さんには、治療を受けてよかった、という満足感を感じていただきたく、本年も努力する所存です。

浜松医科大学医学部附属病院は、平成25年夏に総ての新築・改修工事を終了し、入院病棟、外来棟が全く新しく生まれ変わりました。工事中は患者さん、病院スタッフには大変ご迷惑をおかけいたしました。この間のご協力に感謝申し上げます。新しい病院は、改築前と比べてきれいで、清潔感あふれ、広々としており、患者さんには喜んでいただけるものと思っております。

本年は、地域周産期医療学講座の一層の発展をめざすとともに、小児外科の医師を増員して、積極的に新生児や小児の手術に取り組んでいきたいと思っております。これらを通じて、新生児医療にかかわる産科及び小児科の医師の確保・育成に努めます。また、医療福祉支援センターは県西部のみならず静岡県全体の地域医療の要となって機

病院長 瀧川 雅浩



能していますが、より充実した体制作りを計画しています。これにより、例えば、患者さんの紹介・逆紹介がスムーズにいくことが期待できます。このような病院機能アップにより、患者さんへのサービスをますます充実させたいと思います。

医療はチーム医療が基本です。浜松医科大学医学部附属病院は極めてチームワークのよい病院です。病院全体がひとつのチームとなって仕事に励み、一人一人の患者さんに最良の医療を提供するように、最大限の努力をいたします。なにとぞ、ご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。



新任医師の紹介

第二内科内分泌科 診療助教 山下 美保

平成25年11月より当院第二内科内分泌科の診療助教をつとめさせていただく事となりました。平成10年に本学を卒業し、焼津市立総合病院、県西部医療センターに勤務させていただいた後、本学にて臨床／研究に従事しておりました。平成22年に博士号を所得した後、アメリカのミシガン大学へ約3年留学し、このたび再度当院にて働かせていただく事となりました。

内分泌科は、糖尿病・甲状腺など多くの患者様がいらっしゃいますが、私自身は特に下垂体・副腎を専門にさせていただいています。元来稀な疾患が多く、県内各地から大学病院に紹介される患者様が多い分野です。最近では、副腎疾患である原発性アルドステロン症が、高血圧の患者様の5-20%を占めるということが判明し、あらたに脚光をあび、多くの患者様をご紹介いただいています。片側性である場合手術による治療が可能のため、副腎静脈サンプリングによる局在性の診断が必要になってきます。県内でもサンプリングを行える施設が限られてお

り、当院では放射線科の先生方にご協力いただき、高い成功率・診断率を有しているのが、ご紹介いただける大きな理由です。内分泌科はいずれの疾患も、他科との連携が大切な科ですので、良い関係を築けていければと考えております。

私自身は留学中、視床下部と肥満に関連した研究をしていました。日本はアメリカほどの肥満大国ではありませんが、年々増加傾向にあります。しかも欧米と比較して、肥満の程度が軽くても関連合併症がおこりやすいという点では、より注意が必要かと思われます。現在アメリカでは治療法として唯一効果があると言われているのは、外科手術によるBariatric Surgery といって胃の一部を切除する手術ですが、日本では外科的治療の適用になるのはごく一部で、食事制限と生活習慣の是正が第一選択となっています。研究だけでなく、今後は臨床においても、肥満の治療に取り組んでゆきたいと思います。



医学部附属病院再整備完成記念式典を挙行

平成18年度から進めていた医学部附属病院再整備事業が今年7月に完了し、去る11月1日（金）、多目的ホールにおいて、文科省の長坂潤一文教施設企画部技術参事官及び手島英雄大学病院支援室長、伊東幸宏静岡大学長、大須賀淑郎静岡県副知事、鈴木康友浜松市長などの方々を来賓に迎え、地方自治体、医療、教育、工事関係者ら約180人が出席して記念式典を挙行了しました。

式典では、中村達学長が「長きにわたり世界に誇れるような診断と治療の成果を重ね、世界に発信していくとともに、地域医療に貢献していきたい」と挨拶し、次いで、長坂技術参事官から、「地域からの高い期待などに応え、いっそうの発展を祈念する」と祝辞が述べられました。式後には、外来棟の救急部、シミュレーションセンター及びNICUなどの施設を見学後、場所を移して祝賀会が催

されました。

再整備は、「50年先を見据えた病院づくり」をコンセプトに掲げ、災害に強い病院、高度先進医療の提供などを目指したものです。平成22年1月の新病棟開院により第1期が完了、第2期として平成23年3月に外来棟改修工事を着工し、10階建ての旧病棟の6階以上を取り壊して5階建てに減築する工法を取り入れ、4階以下を稼働させながら、外来診療部門の耐震工事及び機能向上に向けた集約化などを行いました。

総務課



来賓を招いての式典



吉野救急部長の説明を受ける出席者



口腔がんに対する機能温存治療

歯科口腔外科 病院准教授 長田 哲次

口腔は歯や舌が存在する非常に狭い空間で、食べ物を噛み砕いたり、飲み込んだり、言葉を発したりなど様々な機能を持ち、さらに口元は審美的にも重要な部位です。その口腔に発生する口腔がんは舌・口底、上下の歯肉、硬口蓋に分類されます。

この口腔がんの治療を行う上で治療の主体は手術になります。再発させないように注意深い切除がもちろん必要ですが、機能を出来るだけ保ち手術後の生活の質を落とさないように配慮しながら治療を行う必要があります。

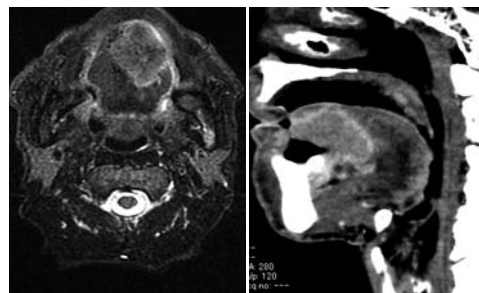
当科では症例によっては、手術の前に少量の抗がん剤を腫瘍の栄養動脈に注入（超選択的動注療法）し腫瘍の縮小を図った後、十分な安全域で切除を行っています。これにより狭い口腔内で腫瘍に圧迫されていた正常組織の触知が容易となり安全で確実な手術が可能となります。切除された軟組織の欠損

には太ももの皮膚（前外側大腿皮弁）、顎の骨の欠損には足の骨と皮膚（腓骨皮弁）を用いて再建し、術後の機能障害を最小限にできるように治療を行っています。以前は癌の手術を行っても術後の舌の動きが不十分でうまく食事が飲み込めないこともありましたが、これらの方法で治療を行うことで、術後の障害はかなり改善されてきました。さらに最近では移植した腓骨にインプラントを植立し、顎の骨を大きく切除した後でもしっかりものを咬むことも可能になりました（この治療法は広範囲顎骨支持型補綴という名称で保険適応が認められています）このように比較的進行したがんでも治療するだけでなく、術後の機能低下も最小限に抑えられるようになりました。

口は消化管の入口で単に食事を摂るだけでなく、精神的にも社会的にも重要な役目を担った器官です。当科ではがんの状態や患者様の全身状態などを考慮の上、最適の結果を生むよう取り組んでおります。



舌癌 初診時の口腔内の状態



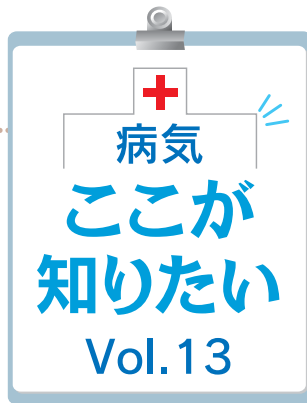
舌癌 初診時のMRI



舌癌 皮弁再建を行った後の口腔内の状態



下顎歯肉癌 腓骨で再建した骨にインプラントを入れた状態



「多嚢胞性卵巣症候群」

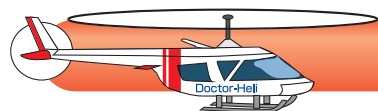
産婦人科学 教授 金山 尚裕

月経不順を主な症状とする疾患で、結婚すると不妊症に直結するので重要な疾患です。なぜ不妊症になるかと言いますと、月経不順の原因が無排卵だからです。排卵がないと月経不順となります。多嚢胞性卵巣症候群は生殖年齢女性の約5%～10%が罹患するとも言われており、無排卵の最大の原因ではないかと考えられています。気がつかないで放置すると、排卵誘発剤に抵抗性となり、いざ子供を欲しいと思ってもできにくいことがあります。早期診断、早期対応が必要です。「生理があるから排卵が毎月ある」と思っている女性は多いのですが、そんなことはありません。月経があっても排卵がないこともあります。多嚢胞性卵巣症候群を放置している結婚前の若い女性が多いのが現状です。毎月排卵がある方は月経周期が28～32日で安定して予定通り月経が来る方で、それ以外の方は排卵がない可能性もあります。多嚢胞性卵巣症候群の原因にインスリン抵抗性があります。インスリン抵抗性とはインスリンの刺激が細胞にうまく伝われなくなる状態を言います。血中のインスリン濃度は高くなります。インスリン抵抗性は高脂血症、肥満、本態性高血圧などの生活習慣病の病態ですが、多嚢胞性卵巣症候群にも密

接に関係しています。インスリン抵抗性は悪い生活習慣を長く続けていると起こってきます。悪い生活習慣とは栄養のアンバランスと運動不足、喫煙、ストレスが主なものです。具体的には朝の欠食、間食の多い食事習慣、野菜不足、蛋白不足、トランス脂肪酸過多、遅い時間の夕食、夜食などが栄養のアンバランス状態と言えます。定期的な有酸素運動を行わない方が運動不足状態と言えます。喫煙もインスリン抵抗性の原因ですが、タバコに含まれているニコチンを始めとする物質は強烈に卵巣機能を低下させますので要注意です。ストレス過多ですと卵巣の血液循環が低下し卵巣機能不全となります。したがって多嚢胞性卵巣症候群の治療はまず生活習慣を見直すことから始まります。月経不順があり上記のような生活習慣のある方は是非基礎体温を測定して排卵の有無を確認して下さい。排卵のない方は多嚢胞性卵巣症候群の可能性があるので早めに産婦人科に受診して下さい。結婚して子供ができない、その原因が多嚢胞性卵巣症候群、あるいはその予備軍である方はたくさんさん見えます。どうか月経不順の方、放置しないで下さい。

有酸素運動を
取り入れましょう！
栄養のバランスにも
気を配りましょう！





フェーズ0からの災害医療



東日本大震災から間もなく 3 年が経過しようとしています。2013 年 6 月に発表された静岡県第 4 次地震被害想定によると、本県で予想される被害は最大で死者 10 万 5000 人、全壊焼失 30 万 4000 棟と見込まれています。災害拠点病院として当院の担う役割は、より一層大きくなっているものと、私ども病院スタッフは改めて認識させられております。

さて、皆様は災害医療救護活動のフェーズ区分をご存知でしょうか。災害発生からの時間経過により災害医療はフェーズ 0、1、2、3 と区分されます。フェーズ 0 は発災直後で病院や役所での組織的な災害対応がまだできてない、言わば被災者が自分たちの力だけで生き延びなくてはならない時相を言います。

万が一、大地震が発生し皆様が傷病者になってしまった場合、このフェーズ 0 ではどのような行動を取ったらよいのでしょうか。病院は重症患者さんへの対応で大混乱することが予想されます。それに加え 119 番は繋がらず、救急車はなかなか来ない状況が考えられます。

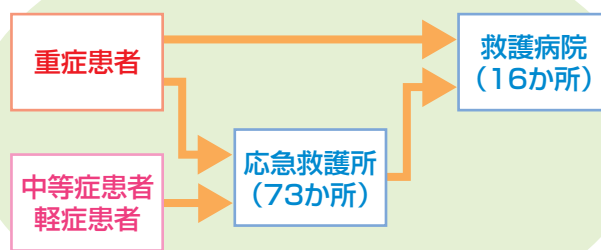
このような事態に備え、浜松市をはじめ多くの市町村では「医療救護計画」が策定されています。その計画の中では地域住民が傷病者となった場合、まず自宅近くの小・中学校などに開設された応急救護所でトリアージや応急処置を受け、そこから必要に応じて病院を受診するという流れになっています（図 1）。浜松市の応急救護所についてはインターネ

ット上の「浜松市防災マップ」で検索できますので、お時間のある時に是非一度ご確認ください。同様に避難所の確認も可能となっています。

当院では東日本大震災以降、病院災害対策マニュアルの見直しを進めるとともに、大災害発生時に多数の傷病者が一斉に来院することを想定した大規模な災害訓練を行い、災害医療体制整備に努めています（写真 1、2）。しかしながら、災害時に一つでも多くの大切な命を守るためには、病院の災害対策のみでは決して充分とは言えません。身近な傷病者に対する応急処置や救護所への搬送には、地域の皆様の協力が不可欠です。「フェーズ 0 からの災害医療」は地域の皆様によって構築されるものと言っても過言ではありません。皆様の災害医療に対するより一層のご理解、ご協力をお願いし、本稿を結ばせて頂きたいと思います。

救急災害医学講座 助教 高橋 善明

救護施設間の連携 (図1)



浜松市医療救護計画より抜粋。応急救護所、救護病院などについては、インターネット上で「浜松市防災マップ」をご確認ください。

「中部ブロックDMAT(災害派遣医療チーム) 実動訓練」(H25.11.1 当院(災害拠点病院・DMAT指定医療機関)にて)



(写真1) 県西部のDMAT活動を統括するDMAT活動拠点本部も当院に設置される



(写真2) 院内スタッフと全国から参集したDMATが協力して、多数の傷病者に対するトリアージや治療を行う

樹木剪定ボランティアの紹介 ～遠州庭園同好会～

「遠州庭園同好会」は、浜松テクノポリスの造園科の講師、同科卒業者、造園会社勤務者等、造園の技能向上に日々研鑽する意欲ある43名で構成されています。

平成9年から、市立可美公民館で地域住民とともに活動を重ね、市立緑化推進センターでは剪定や生垣造りを支援し、平成21年より浜松医科大学病院に、剪定ボランティアとして13名が活動中です。

自分達の技能向上や後輩の育成にも力を入れ、これまで自分たちを支えてくれた地域の方々に少しでも恩返しができたら嬉しい、社会に貢献したいとの思いから、右記スローガンを掲げ活動を展開しています。

1. 自主性・主体的で自分から進んで活動する。
2. 社会性・連帯性で共に学び合い、支え合う活動とする。
3. 無償性・無給性で見返りを求めない活動とする。
4. 創造性・開拓性・先駆性でより社会に貢献する。

会員は20代から70代まで幅広く、年2回の名園見学や一滴会と銘打った研究会もあり、各月に座学や近隣の庭園を探索をして意見を述べあいながら研鑽しています。また、社会福祉協会に登録しまして、一般の方々の参加も受け入れています。

現在年4回のボランティア活動を計画していますが、お天気次第です。これからも、皆様のご期待に添えるような活動を行えるよう頑張ります。

ボランティアリーダー 結城由行



竹林の整備(病院東側駐車場にて)



ヤマモモの剪定(浜松医科大学入口にて)

ジャズX'masコンサート開催 ～ Mayumi & Gentle3 ～

平成25年12月25日 NHK文化センター 浜松教室ジャズボーカリスト講師として活躍中の三輪まゆみさんと3人の演奏家によるジャズのライブ演奏が病院多目的ホールで開かれ聖夜を飾りました。

ピアノ・ベース・ドラムの響きに、歌唱力豊かに歌い上げるボーカルが重なり、“サンタがまちにやってきた” “ジングルベル” など、クリスマスにちなんだ曲が披露されると、患者さんも生き生きと手や足を使ってリズムを刻んでいました。

約1時間の生演奏は、華やかなうちに幕を閉じました。

医事課





冬を彩るクリスマスイルミネーション



毎年楽しみにしていただいているクリスマスイルミネーションが、11月22日(金)から12月26日(木)まで、医学部附属病院病棟2階エントランスホール(時間9:00～22:00)及び外来棟・病棟中庭(時間16:00～22:00)の2か所で点灯されました。

冬の澄んだ空気と静寂の中できらきらと輝きを放ち浮かび上がる光景に、思わず立ち止りじっと見つめる入院患者さん・ご来院の方々の後ろ姿が印象的でした。

これらの作品は、『本院の患者さんや利用者に対するサービスの向上』を目的として、この趣旨に無償賛同していただいた市内の民間企業4社と本院の合作によるもので、昨年からの光輝くモミの木やサンタクロースとトナカイ、そして木々に飾り付けられたLED電球に、今年新たにプレゼントモチーフとコーンツリーが加わり、昨年を上回る幻想的で心温まる雰囲気を作り出していました。

施設課・医事課



外来棟・病棟 中庭



病棟2階 エントランスホール



自動支払機が変わります

平成26年1月27日から、現在の自動支払機を新しい機種へ更新し、台数も5台に増設します。これにより、自動支払機の順番待ちによる混雑が解消され、現在よりもスムーズにお支払いいただけます。

また、同時に詳細な個別の点数項目が分かる明細書(診療明細書)をすべての患者さんに発行しますので、ご承知くださいますようお願いいたします。

医事課



当院は日本医療機能評価機構認定病院です。

病院広報 **はんだ山の国** 第14号 平成26年1月発行

発行／浜松医科大学医学部附属病院広報推進委員会 〒431-3192 浜松市東区半田山1丁目20番1号
TEL.053(435)2111(代表) FAX.053(435)2153(医事課) Hpアドレス／<http://www.hama-med.ac.jp/>

外来診療日一覧

H26.1.1現在

受付時間

午前 8時30分～11時 一般外来・専門外来
午後 0時30分～ 2時 専門外来

休診日

土曜日および日曜日、祝日法による休日、12月29日～翌年1月3日

○：午前
△：午後
◎：午前・午後
◆：予約のみ

診療科名		診 療					日 診					備 考	
		初 診					再 診						
		月	火	水	木	金	月	火	水	木	金		
内 科		受付電話 435－2632											
一般内科	初診・再診	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆		
	消化器内科	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆		
	第一内科	腎臓内科	◆	◆	◆		◆	◆	◆	◆		◆	
		神経内科	◆	◆	◆			◆	◆	◆		◆	
第二内科	肝臓内科	◆	◆		◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆		
	呼吸器内科	◆	◆		◆	◆	◆	◆		◆	◆		
	内分泌・代謝内科	◆	◆		◆	◆	◆	◆		◆	◆		
第三内科	血液内科	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆		
	免疫・リウマチ内科	◆		◆	◆	◆	◆		◆	◆	◆		
臨床薬理内科		◆				◆	◆			◆	◆	要問い合わせ	
循環器内科		◆		◆	◆	◆	◆		◆	◆	◆		
ペースメーカー外来												予約のみ、要問い合わせ	
ピロリ菌外来		◆					◆					午後のみ	
精神科神経科		受付電話 435－2635 ※他医療機関で治療している場合は「紹介状」が必要											
専門外来	初診・再診	○	○	○	○	○		○	○	○	○		
	児童思春期		○					○					
	摂食障害外来								△				
	摂食障害デイケア							◎		◎	◎		
小 児 科		受付電話 435－2638											
専門外来	初診・再診	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆		◆	◆	初診は随時電話で	
	内分泌・遺伝		◆					◆			◆		
	内分泌		◆			◆		◆			◆		
	心臓				◆	◆				◆	◆		
	血液									◆	◆	第2、4週のみ	
	免疫・アレルギー	◆			◆	◆	◆			◆	◆		
	神経		◆		◆			◆		◆			
	腎臓				◆					◆			
	新生児フォローアップ							◆			◆		
	乳児検診	◆					◆						
在宅医療									◆				
小 児 外 科		受付電話 435－2638											
初診・再診					◆					◆			
外 科		受付電話 435－2641											
第一外科	呼吸器外科			◆					◆		◆	要紹介状	
	一般外科（内視鏡）	○		○		○	○		○		○		
	乳腺外科	◆	◆			◆	◆	◆			◆		
心臓血管外科		○		○		○	○		○		◆		
外 科		受付電話 435－2642											
第二外科	上部消化管外科			◆					◆				
	下部消化管外科	◆					◆						
	肝・胆・膵外科					◆					◆		
	血管外科		◆					◆					
	緩和ケア外来		◆			◆		◆			◆		
脳神経外科		受付電話 435－2644											
初診・再診		◆	◆		◆	◆		◆		◆	◆		
整 形 外 科		受付電話 435－2647											
専門外来	初診・再診	◆		◆	◆	◆	◆		◆	◆	◆		
	教授外来（脊椎）	◆			◆		◆			◆			
	骨粗鬆症				◆					◆			
	リウマチ			◆	◆				◆	◆			
	手・末梢神経			◆					◆				
	脊椎	◆					◆						
	腫瘍			◆					◆				
	股関節					◆					◆		
	肩関節					◆					◆		
	膝関節					◆					◆		
小児整形		◆					◆						

診療科名		診療日										備考
		初診					再診					
		月	火	水	木	金	月	火	水	木	金	
皮膚科 受付電話 435-2650												
専門外来	初診・再診	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	
	乾癬外来		◆		◆			◆		◆		
	アトピー外来	◆		◆			◆		◆			
	光線過敏症外来		◆					◆				
	脱毛症外来	◆					◆					
	化学療法スキンケア外来		◆		◆			◆		◆		
泌尿器科 受付電話 435-2653												
専門外来	初診・再診	◆	◆	◆	◆			◆	◆	◆		
	腎移植外来		◆					◆				第2週のみ
	排尿障害外来		◆		◆			◆		◆		第1、3、4、5週のみ
	不妊症外来					◆					◆	
		◆					◆					第1、3、4、5週のみ
眼科 受付電話 435-2656												
専門外来	初診・再診	◆		◆	◆	◆	◆		◆	◆	◆	
	網膜変性外来		◆					◆				
	斜視・弱視外来								◆			
	ロービジョン										◆	
耳鼻咽喉科 受付電話 435-2659												
専門外来	初診・再診	○	○	○	○	○	○	○		○	○	
	腫瘍外来	○					○					
	耳外来				○					○		
	めまい外来			◆								
	耳鳴外来		○					○				
	難聴外来・人工内耳外来		○					○				
	睡眠時無呼吸・いびき外来					○					○	
	顔面神経外来					○					○	
	鼻副鼻腔・アレルギー外来				◆					◆		
産科婦人科 受付電話 435-2662 ※女性医師ご希望の方はお申し出ください												
専門外来	産科 初診・再診	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	婦人科 初診・再診	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	
	婦人科外来	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	
	産科外来	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	腹腔鏡外来		◆					◆				
	光療法外来			◆					◆			
	母親学級							◆				
	女性漢方外来		◆					◆				第1、2、4週のみ
	A R T 室 受付電話 435-2664											
不妊外来						◆	◆		◆	◆		
放射線科 受付電話 435-2665												
専門外来	放射線治療外来	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	
	アンギオ外来		◆		◆			◆		◆		
麻酔科蘇生科 受付電話 435-2668												
初診・再診	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	
リハビリテーション科 受付電話 435-2747												
初診・再診	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
形成外科 受付電話 435-2496												
初診・再診	○	○	○	○		○	○	○	○			
							◆					
歯科口腔外科 受付電話 435-2673												
専門外来	初診・再診	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	専門外来の診察日は不定期のため、 歯科口腔外科 外来受付電話に問い合わせ ください
	唇顎口蓋裂外来			○					○			
	インプラント外来			○					○			
	顎補綴			○					○			
	矯正歯科					○					○	

※市外からお電話の場合は、電話番号の前に市外局番（053）を付けてください。